

# 海況速報

平成6年度 第5号(通算 No.41)  
平成7年1月9日  
北海道立水産試験場

海洋部の電話番号が直通になりました。  
内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

## 12月上旬～12月中旬の海況

### 【日本海海域】

前回(10月)の観測以降、積丹半島北西部に新たな暖水渦(中心:100m水温12℃以上)が発生しました。さらに、北緯44度30分、東経139度30分にも、暖水渦が見られます(中心:200m水温5℃以上)。これは、8月期の観測時に積丹半島北西部に形成されていた渦が北方に移動してきたものと考えられます。これらふたつの渦は100m以浅ではつながっていて、たとえば100m水温で7℃の等温線の沖合い側への張り出しを見ると、北は北緯44度30分から南は北緯42度30分までの広い暖水域を形成しています。また、北緯42度30分以南で対馬暖流の幅が広がっていることが特徴です。

一方、50m層以深では、この広い暖水域の岸側では、北緯44度30分から南方へ北緯43度付近まで冷水帯になっています。

道北海域の水温は、北緯44度30分の暖水渦を除いて全体的に累年平均(\*1)より0～3℃低くなっています。

道央・道南の水温について見ると、累年平均と比べて、暖水渦・暖水域の中では最大6.9℃高いところがあり(北緯42度30分、東経139度00分の50m層)、積丹半島北西部の冷水帯の中で最大3.2℃低いところがあります。

余市における沿岸水温(旬平均)は、10月下旬以降、平年値に比べ+0.2～+1.6℃の範囲にあり、やや高めで推移しています。

### 【道東太平洋海域】

襟裳岬南東方はるか沖合いの北緯41度線上に暖水塊(表面水温15℃以上、200m水温11℃以上)が入り込んできました。また、その東方にも厚さが200mに満たない暖水塊(表面水温10℃以上、100m水温8℃以上)があります。

これらの暖水塊の沿岸側の水域の50m層以浅では水温がかなり一様になってきていますが、100m層を見ると、6℃以上で示される道東沿岸流が岸沿いに西向きに流れています。この沿岸流は、襟裳岬西方で南に向きを変えて離岸した後、さらに南方の暖水塊の北縁に連なるように流れているようです。

水温について見ると、各層とも、東側の暖水塊のまわりで0～3℃累年平均よりも低いことを除けば、暖水塊以外の水域で0～2℃高いところが多くなっています。

### 【道南太平洋海域】

浦河南東方向の観測線上で水温7℃の等温線が北緯41度40分以上にあることから、津軽暖

流はまだ渦モードのままのようです。

津軽海峡東口の最高水温帯の水温は、累年平均に比べて表面から100m層までは $-0.5\sim+0.5$ ℃ですが、200mでは $+2.3$ ℃となっていて、津軽暖流の厚みが少し厚くなっています。

恵山岬のある緯度以北の海域の水温は、各層とも、累年平均に対して $-0.5\sim+2.0$ ℃のところが多くなっています。

### 【オホーツク海海域】

表面はほとんどのところで東カラフト寒流におおわれています。このため、宗谷暖流は潜流となり、たとえば50m層では紋別沖以西までしか宗谷暖流は見えません。一方、網走以東の200m層の沿岸部では、前回(10月)より水温が $4$ ℃以上上昇していることから、宗谷暖流がさらに深い深度まで達する流れとなっています。50m、100mともに宗谷暖流の幅は前回とあまり大きな変化はありませんが、100m層では網走以東で暖流の幅がかなり広がっています。特に、知床岬北方では、はるか沖合いの北緯45度10分でも水温が $7$ ℃以上ある(累年平均と比べて $4.9$ ℃高い)という特徴的な海況となっています。

水温について見ると、累年平均と比べて、各層とも $-2\sim+2$ ℃のところが多くなっていますが、知床岬沖では沿岸を除き $3$ ℃以上高く、また、宗谷海峡東方表面では東カラフト寒流の到達が早かったため $6$ ℃以上低くなっています。

---

#### 資 料 〔観測期間〕

青森水試 (東奥丸)	平成6年11月29日～同11月30日 (東北日本海海域)
稚内水試 (北洋丸)	平成6年12月07日～同12月09日 (道北日本海海域)
稚内・網走水試 (北洋丸)	平成6年12月12日～同12月14日 (オホーツク海海域)
釧路水試 (北辰丸)	平成6年12月6日～同12月13日 (道東太平洋海域)
函館水試 (金星丸)	平成6年11月29日～同12月8日 (道南太平洋海域)
中央水試 (おやしお丸)	平成6年12月7日～同12月11日 (道央日本海海域)

---

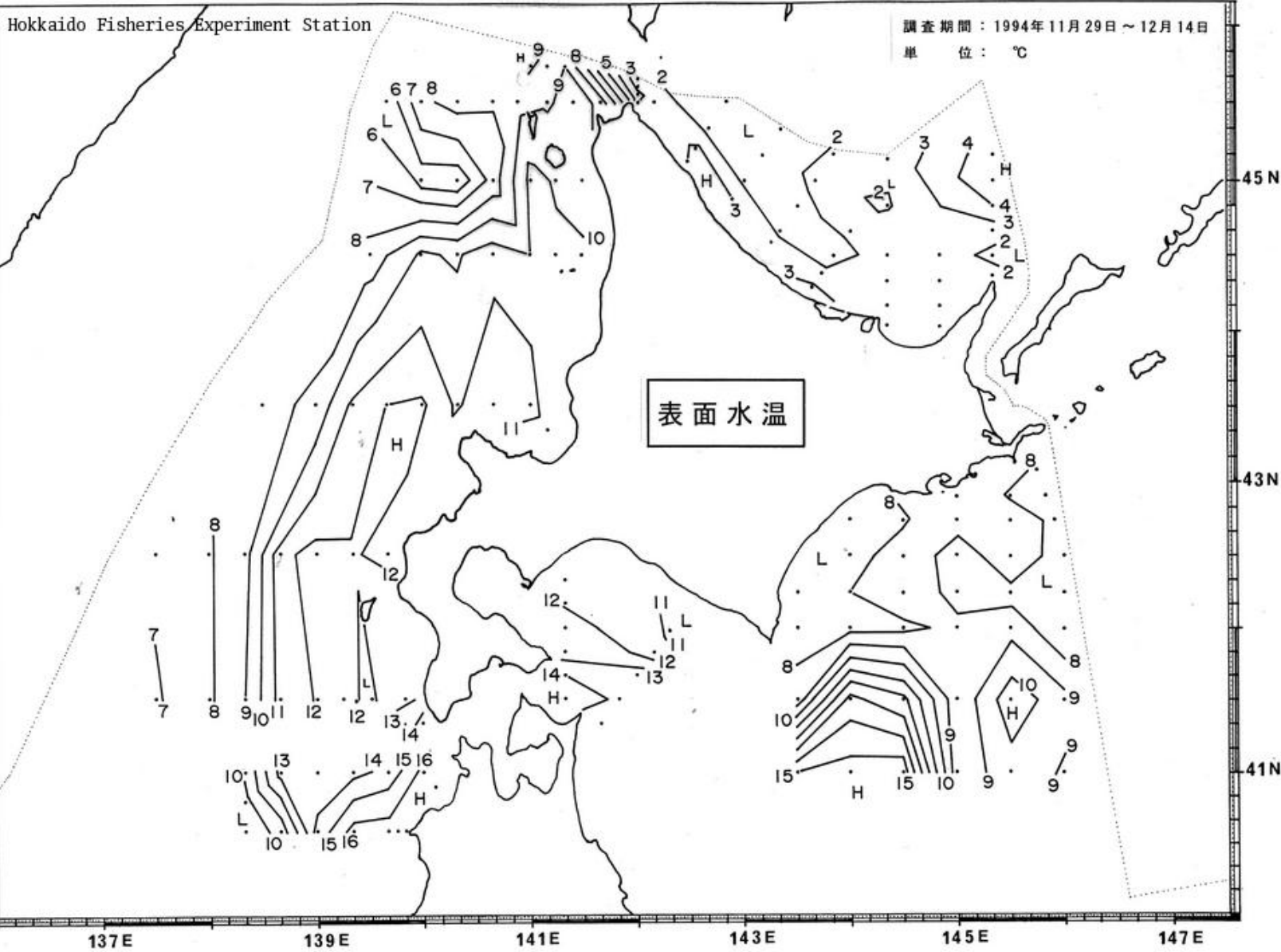
\*1: 平成元(1989)年～平成5(1993)年までの平均値を使用しました。

(中央水試 海洋部)

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1994年11月29日～12月14日  
単 位：℃

表面水温

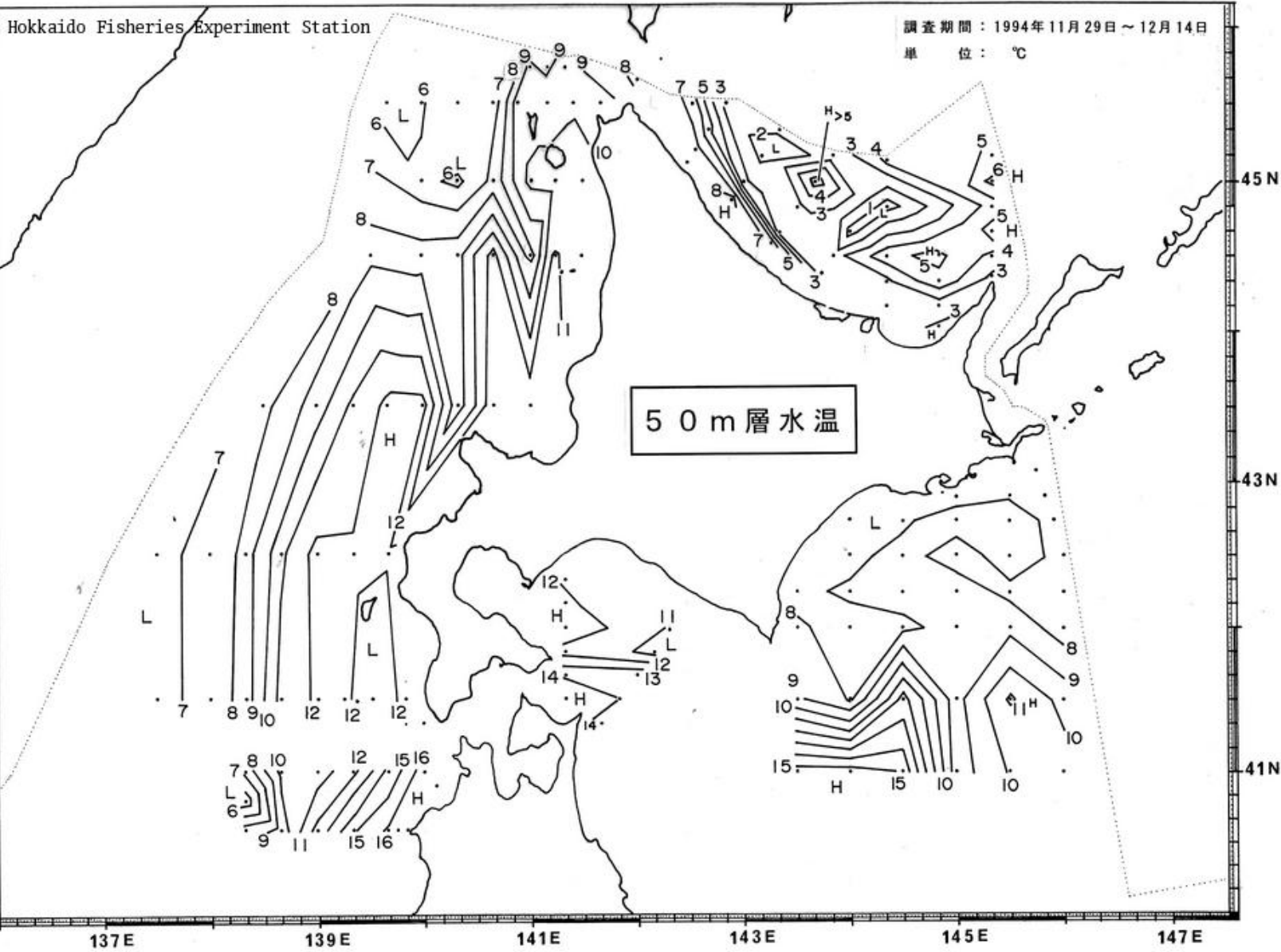


Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1994年11月29日～12月14日

単位：℃

50m層水温



137E

139E

141E

143E

145E

147E

45N

43N

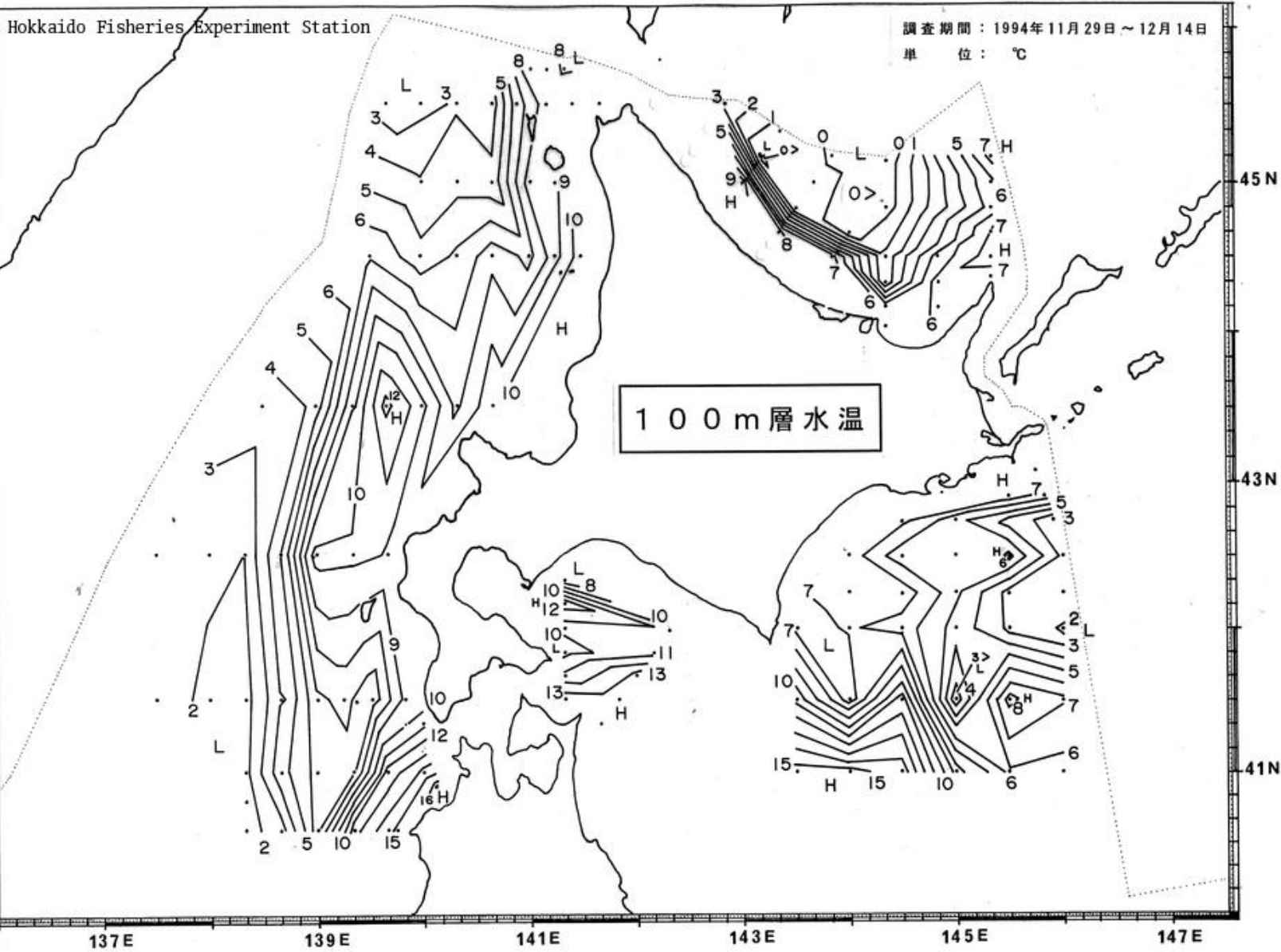
41N

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1994年11月29日～12月14日

単位：℃

100m層水温



200m層水温

